

アブラハムの子イシュマエル: Abraham's son Ishmael

アブラムと妻サライの間に子どもはなかった。しかし、彼女にはエジプト人のハガルという女奴隷がいたので、アブラムに、「私の女奴隷のところにお入りくだされば、私は子どもの母になれるでしょう。」と言った。また「ご存じのように、主は私が子どもを産めないようにしておられます。」と。そして、アブラムはサライの言うことを聞き入れ、ハガルのところに入った。そして彼女はみごもった。すると、彼女は自分がみごもったのを知って、自分の女主人を見下げるようになった。そこでサライはアブラムに言った。「ハガルの横柄さは、あなたのせいです。私自身が女奴隷をあなたに与えたのですが、彼女は自分がみごもっているのを見て、私を見下げるようになりました。主が、私とあなたの間をおさばきになりますように。」アブラムはサライに言った。「ご覧。あなたの女奴隷は、あなたの手の中にある。彼女をあなたの好きなようにしなさい。」それで、サライが彼女をいじめたので、彼女は逃げた。主の使いは、荒野であるシュルへの道、ある泉のあるところで、彼女を見つけ、「サライの女奴隷であるハガル。あなたは、どこへ行こうとしているのか。」と尋ねた。彼女は答えた。「私は女主人サライから逃げてきました。」主の使いは言った。「あなたの女主人のもとに帰りなさい。そして、彼女のところで身を低くしなさい。」また、言った。「あなたの子孫は、わたしが大いにふやす。それで、数えきれないほどになる。」また、さらに言った。「あなたはみごもっている。男の子を産む。その子をイシュマエルと名づけなさい。主があなたの苦しみを聞かれましたから。彼は野生のろばのような人になり、すべての人に逆らい、すべての人も、彼に逆らう。彼はすべての兄弟に敵対するようになる。」そこで、彼女は自分に語った主の名を「あなたはエル・ロイ」と呼んだ。それは、私を見る方のうしろを私が見て、なおも私がここにいるとは。」と彼女が言ったからである。それで、その井戸を、ベエル・ラハイ・ロイと呼ばれた。それは、カデシュとベレデの間にある。ハガルは、アブラムに男の子を産み、アブラムは、その子をイシュマエルとした。イシュマエルが産まれたとき、アブラムは八十六歳であった。

コメント：神はアブラム(後のアブラハム)の子孫を祝福し、繁栄させると約束されました。しかし、サライ(後のサラ)が子どもを産むことは年齢的に不可能でした。だから、サライは女奴隷にアブラムの子を産ませることを考えました。その相手として選んだのがエジプト人の女奴隷でした。それは間違いでした。神は、アブラムの子と言われたが、まだサライの子とは啓示されていません。だがサライの取った行動は神のみこころに沿わなかったようです。サライは自分が良いと思うことを行いました。箴言 21 章 2 節『人には自分の歩みがみなまっすぐに見える。しかし・・・』【Every way of a man is right in his own eyes, But ...】サライのとった行動の結果は、想定外でした。サライは、ハガルが産んだ子どもを通して、自分が子どもの母となれると思いました。この失敗の原因は何でしょうか。聖書は一貫して信仰を取り上げます。サライは神に伺いを立てることなく、自分の考えで行動しました。これは信仰ではありません。箴言 16 章 9 節『人は心に自分の道を思い巡らす。しかし、主が人の歩みを確かにされる。』【A man's heart plans his way, But the Lord directs his steps.】信仰は主がなされることを信じ、信頼することです。サライはこの時、主の言葉を待たずに、自分の考えを優先しました。

ハガルがサライを見下げるようになったので、彼女はサライにいじめられるようになりました。それで、逃げていきました。主は使いをハガルの前に遣わし、祝福を与えられ、そして預言します。「あなたの子孫は数えきれないほど多くなる」また「男の子を産み、イシュマエルと名付けなさい」「彼は野生のろばのような人となり、すべての人に逆らい、すべての人も、彼に逆らう」「彼はすべての兄弟に敵対する」野生のろばとは、遊牧民になり、渡り歩く生活を意味します。アブラハムも同じように遊牧民です。また彼の子孫は、12 氏族の集落と宿営に分かれ、すべての兄弟たちに敵対します。それが現在のアラブ民族であり、イスラエルの国が建国されてから、イスラエルとアラブは敵対しており、今も争いが絶えません。昔から、神が予言されていることです。しかし、神はその解決も与えておられます。ユダヤ人と異邦人の区別なく、イスラエル人とアラブ人の区別もなく、すべての人が、イエス・キリストの十字架の贖いによって救われることです。